

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルピナス		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 3月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		～ 2026年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	研修体制の充実により、職員が支援の力を身に付ける事が出来る。また、学ぶ事によって知識も身に付けられて、職員同士共通理解が生まれ、チーム連携に繋がると感じる。	法人全体で、研修は年間計画を立てて実施している。事業所から研修参加する職員がいた場合、スクール内で協力しあい、職員が前向きに研修参加出来るよう連携している。	引き続き、職員が前向きに学ぶ機会を大切にしていく。自身で関心のある内容は積極的に研修に参加する等、学びの機会を増やしていく。
2	保護者支援の充実。面談の実施の他、グループカウンセリングや学習会・親父発達支援等の取り組みにより、家庭での困っている事や、相談したい事をこまめにキャッチ出来る体制がある。	家庭で相談があった際には、事業所内で留めるのではなく、法人内のショートステイやホームヘルプサービス、地域の相談室等の関係機関との連携に繋げ、支援している。	継続して、様々な関係機関と連携して家族支援を行なっていく。
3	職員間の連携。クラス会議やグループSVなどを行い、職員間で常に子どもの事や構造の事など話あう時間をとっている。	職員間でこまめに話したり、連絡し合いながら、子どもの様子等共通理解を持って連携出来ている。	よりこまめに情報共有しながら、職員連携に努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員同士の役割分担の明確化。個別対応や集団での活動の役割分担が、途中入社職員の動きと合わせていくのに、やや時間がかった。	グループ分け・個別対応で活動する際の役割分担を事前に共有し、職員の動きを明確にする等、打ち合わせや振り返りの時間が少なくなっている事。	グループSVやクラス会議等で、子どもたちの様子や家庭の状況を共有し、職員間の連携を深めていく。共通理解を持った上で、臨機応変な動きができるよう打ち合わせをしていく。
2	保護者支援は強みの部分でもあるが、グループカウンセリングの参加や事業所内相談に来ることが難しいご家庭へのアプローチが必要と感じている。	仕事等で忙しくしている家庭に声を掛けていっても、日程の都合が合わない事があり、こまめな声掛けが難しい。	引き続きメールや電話等での連絡を活用し、こまめにお子さんの様子を共有できるように働きかける。また、面談の設定や園での実施が難しい場合には家庭訪問を行い、顔の見える繋がりが保護者の皆さんと途切れないように努める。
3			